

まなべ かいちろう
真鍋 嘉一郎(1878~1941)



医学者。新居郡大町村(現、西条市)出身。愛媛県尋常中学校(現、県立松山東高等学校)で夏目漱石に学び、第一高等学校(現、東京大学)を経て東京帝国大学医科大学(現、東京大学)を卒業した。卒業後、内科的理学療法研究のため3年間ドイツに留学し、帰国後、内科の治療にレントゲン線、ラジウム鉱泉、電気などを利用する物理療法の導入に努め、大正15(1926)年、同大学の教授として、内科物理療法学の講座を開いた。

「医学の最後の目的は治すこと」という信念のもと、教授でありながら研究より臨床に徹し、漱石や浜口雄幸(政治家、第27代内閣総理大臣)などの著名人の主治医を務めた。

略歴

明治11(1878)年8月8日	新居郡大町村に生まれる。
明治29(1896)年3月	愛媛県尋常中学校を卒業。在学中、夏目漱石に学ぶ。
明治33(1900)年7月	第一高等学校を卒業
明治37(1904)年12月	東京帝国大学医科大学を卒業
明治40(1907)年2月	東京帝国大学医科大学助手となる。
明治41(1908)年2月	東京帝国大学医科大学大学院に入学
明治44(1911)年3月	ドイツに留学
大正3(1914)年12月	東京帝国大学医科大学講師となる。
大正4(1915)年10月	文部省伝染病研究所(現、東京大学医科学研究所)技師となる。
大正7(1918)年6月	東京帝国大学物理的療法研究所主任となる。
大正15(1926)年7月	東京帝国大学教授に就任。内科物理療法学の講座を開いた。
昭和16(1941)年12月29日	64歳で永眠

(写真提供：楢本神社)

〈関連図書〉

- ・加藤敬『新生西条医師会30周年記念号』加藤敬 1979年
- ・西条郷土史研究会『西条人物列伝』西条郷土史研究会 1986年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』愛媛県 1989年
- ・真鍋先生伝記編さん会『真鍋嘉一郎』大空社 1998年
- ・『発掘えひめの人－近代を拓いた101人－』愛媛新聞社 2002年

〈主な収蔵資料〉…(P196, 11~12)

〈ゆかりのある場所〉…(P270, 26)